

2022年度 江田島市長カップ 広島瀬戸内シニア創立30周年記念
第8回広島瀬戸内シニア旗シャークス杯争奪野球大会

大会要綱

主催	広島瀬戸内リトルシニア中学硬式野球協会
協賛	株式会社ほっかほっか亭総本部（ほっかほっか亭中国各店舗）
後援	江田島市教育委員会、一般財団法人日本リトルシニア中学硬式野球協会関西連盟中国支部
期日	令和4年7月16日（土）～7月17日（日） ※予備日：7月18日（月祝）
場所	広島瀬戸内シニア専用球場、呉昭和シニア専用球場、広島北シニア専用球場、どんぐりスタジアム、白竜湖スポーツ公園野球場、三原中央シニア球場、福山シニア専用球場、広島佐伯シニア専用球場、岩国きずなスタジアム、御建公園野球場、大柿高校グラウンド、瀬野川公園野球場
競技方法	勝ち抜きトーナメント戦（新チーム：32チーム、3年生の部：6チーム） 日本リトルシニア関西連盟大会規定を採用する。（一部、BSY規定を採用）
開門	原則、各会場の開門は7：00とし、極端に早い会場入りや、路上への駐停車を禁ずる。
試合開始時間	第一試合：9：00開始、第二試合以降：前試合終了30分後プレイボール
開会式	実施しません
閉会式	【新チームの部】 とき：令和4年7月17日（日） 於：広島瀬戸内シニア専用球場、瀬野川公園野球場 【3年生の部】 とき：令和4年7月17日（日） 於：大柿高校グラウンド
参加チーム	33チーム（シニア16、ボーイズ9、ヤングリーグ8）

抽選会	大会本部にて厳選なる抽選（初日終了後、限りなく他リーグと当たるよう再抽選）
参加費	【新チームのみ】 25,000円 【新チーム+3年生】 35,000円（いずれも大会終了後、後払い）※完全振込制
試合球	メーカー指定なし（各リーグ公認球）試合ごとに4球 ※最終日のみ主催者用意
審判員	各チームから1～2名派遣して下さい（担当は別紙対戦表を参照）
参加要件	1. 本大会の新チームの部に出場できる選手は、中学1～2年生までの選手とし、各リーグ登録された選手とする。 なお、今大会に限り、3年生の部を設け、3年生選手のみ参加することができる。（大会本部指定の6チームのみ） 2. 選手の背番号は自由とする。（但し、ベンチ入りは25名まで） 3. 1チームの最低人数編成は9名以上25名未満とし、最低人数に満たないチームは応援または合同チームでの参加を認める。（合同チームの場合、各チームのユニフォーム着用を認めるが、背番号の重複は不可能とする。） 4. 本大会に参加するチームは、協賛弁当（@600円）の注文にできるだけご協力願います。

競技要項（大会特別規定）

- 第1項 ベンチは若番が一塁側、**ロージンは両チーム**、ボールボーイは両チーム2名とする。（ボールボーイは原則ベンチ入り選手とする）
- 第2項 各チーム派遣の**審判員は、別紙対戦表に明記された審判を原則**とする。
- 第3項 各球場のグラウンドルールは、試合開始前に各会場の責任審判員により説明を行う。
- 第4項 本大会は**B S Y 混合大会専用の球数制限を採用**する。（1日80球以内、2日間120球以内）なお、球数シートは大会本部が規定する用紙を採用し、試合終了後は両チームのサインを持って整合性を証するものとします。
- 第5項 本大会は、新チームの部と3年生の部でそれぞれ行い、三位決定戦および**主催者斡旋による敗者交流戦は行わない**。（各クラスの競技詳解については別添参照）
- 第6項 試合は7回または2時間制とし、5回をもって試合成立とする。（5回までは2時間超えても試合を行う）なお、試合成立後の延長戦は行わず、即タイブレーク（最大3回：1アウト満塁）を行い、なお同点の場合は最終出場メンバー（18名）による抽選にて勝敗を決定する。（**但し決勝戦は除く**）
- 第7項 **5回以降7点差および4回以降10点差をもってコールドゲームとする**。（**但し決勝戦は除く**）
- 第8項 **メンバー交換は前試合4回終了後**、大会本部が指定する場所にて、**監督・代表選手1名が集合**し、**所定のメンバー表**を提出し、担当審判員並びに本部役員立ち会いのもと、先攻後攻を決定する。
- 第9項 試合前のシートノックは7分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。（原則、補助員はベンチ入り選手に限る）**シートノックを行う場合は、サイドノックを行うことを禁ずる**。（一部変更あり）
- 第10項 **試合前にノックやトスバッティングを行うことを禁止する**。但し、外野フィールドにおいては、アップシューズ着用に関し（土でも芝生でも）、アップやキャッチボールを認める。（一部変更あり）
- 第11項 次試合チームの**ブルペン入りは一切禁じる（球場外にブルペンがある場合も含む）**
なお、次試合チームのブルペン入りは、前試合終了後とする。
- 第12項 **ブルペン捕手は、スタンディングの場合であっても必ず防具を着用（特にキャッチ面）**し、捕手の安全を守る保護選手を1名帯同させること。（保護選手も必ずヘルメットを着用すること）
- 第13項 **参加チームが棄権**した場合は**不戦敗**とし、**繰り上がり制度は採用しない**。

その他の注意事項

- 雨天等の場合は、当日5時までに各チームの担当者に連絡します。（予報によっては前日決定あり）
- 本大会は、日本リトルシニアの大会速報入力を適用する。（主催者及びシニアチームが入力担当）
- 試合前、試合後のグラウンド整備は両チームの選手にてご協力願います。
- 一部球場については、大会弁当のゴミ回収がない場合もございます。（各自持ち帰り）
- アナウンス、ボールボーイ、投球回数記入、審判へのお茶出しは各チームにて願います。また、B S Oは1塁側、スコアボードは3塁側チームが担当して下さい。
- 本大会は**大会本部が定める感染防止対策に定められた規程を遵守**すること。

広島瀬戸内大会の競技要項詳細

本大会の競技要項詳細については、下表のとおり行う。

新チームクラス		
回戦	一回戦～準決勝（予選）	決勝戦のみ
試合成立	5回完了	
正式試合	7回	
球数制限	あり（一日：80球以内、2日間で120球以内）※4連投禁止 ※BSY規定	
時間制	あり（2時間制）	
コールド	あり（4回：10点差、5回以降：7点差）	なし（棄権の場合はコールド適用）
延長戦	なし	
タイブレイク	あり（1アウト満塁：最大3イニング）	あり（決着がつくまで）
抽選決着	あり（タイブレイク後、同点の場合）	なし
審判	【1日目】球審二塁：一塁側チーム、一塁三塁：三塁側チーム（担当は対戦表を参照） 【2日目】準決勝まで：縦審：本部、横審：各チーム、決勝戦：全審本部	
禁止事項	一日4試合、ナイターゲーム ※全て原則	

3年生クラス			
回戦	予選リーグ戦	準決勝戦	決勝戦
試合成立	5回完了		
正式試合	7回		
勝点制	完封/4回CG(5) 5回CG(4) 勝(3) 分(1) 負(0)	-	
予選順位	勝点>少失点>得失点差>直接勝利	-	
球数制限	あり（一日：80球以内、2日間で120球以内）※4連投禁止 ※BSY規定		
時間制	あり（2時間制）		
コールド	あり（4回：10点差、5回以降：7点差）	あり	なし
延長戦	なし		
タイブレイク	あり（1アウト満塁：最大3イニング）	あり（完全決着）	
抽選決着	あり（タイブレイク後、同点の場合に選手抽選）	なし	
審判	【1日目】球審二塁：一塁側チーム、一塁三塁：三塁側チーム（担当は対戦表を参照） 【2日目】準決勝戦：1日目と同じ、決勝戦のみ：全審本部		
禁止事項	一日4試合、ナイターゲーム ※全て原則		

【決勝戦までの適用について】

試合成立ならびに正式試合

試合は7イニングまで行い、時間制を採用する。試合開始から2時間を超えて新しいイニングには入らない。

※ 但し、以下の場合には例外とする。

- 1 試合成立（5回完了）までは、2時間を超えても試合を行います。
- 2 後攻チームがリードしたまま攻撃中に2時間が経過した場合は、その時点で試合を打ち切ります。

コールドゲーム

4回10点差 または 5回以降7点差。（大会中に棄権した場合は、7-0の5回コールド負けとする）

タイブレイク

試合開始から2時間または7回を終了し、同点の場合は次の回から最大3回のタイブレイク戦に入ります。

！重要！ タイブレイク戦に入った時点でタイムカウントは止まります（時間制の適用外）

- ・ タイブレイク戦は正式試合終了後、同点の場合は必ず適用します。（2時間を超えていても必ず実施）
例：5回終了後、2時間を経過し同点の場合は、6回から最大3回タイブレイク戦を行う。
6回終了後、2時間を経過し同点の場合は、7回から最大3回タイブレイク戦を行う。
7回終了後、同点の場合は、8回から最大3回タイブレイク戦を行う。
- ・ タイブレイク戦を行っている途中で2時間を経過しても、途中で打ち切りません。
- ・ 最大3回のタイブレイク戦を戦い、それでも同点の場合は、両チームの最終メンバー9名にて勝敗抽選を行う。

【決勝戦の適用について】

コールドゲーム

コールドゲームは採用しません。（但し、大会中に棄権した場合は、7-0の5回コールド負けとする）

タイブレイク

試合開始から2時間または7回を終了し、同点の場合は、勝敗の決着がつくまでタイブレイク戦を行います。

サスペンデットゲーム（特別継続試合）について

降雨及び日没などにより、試合の途中で中止された場合、特別継続試合を適用します。

適用するケース

- ・ 試合が成立する前（5回完了する前）に中止になった場合。
- ・ 試合成立後、7回を完了するまでに、残り時間がある場合。

特別継続試合のルール

- ① 中止となった元の状態から継続するため、元の試合で交代した選手は出場できない。
- ② 監督・コーチの交代は認めるが、試合前に大会本部へ変更メンバー表を提出すること。
- ③ 投手の投球回数制限はそのまま生きる（リセットされない）
- ④ 残り時間は元の試合の経過時間から引き継ぎ、合算で2時間とする。
- ⑤ 特別継続試合の日時、球場、審判員は大会本部にて決定する。

注1) 特別継続試合は、原則として、翌日の第一試合に割り当てられます。

注2) 試合成立後（5回終了後）に中止となった場合は、リードしているチームが勝利となり、特別継続試合は適用されません。

注3) 試合成立後（5回終了後）同点で試合が中止の場合は特別継続試合を適用します。

※タイブレーク中に、中止となった場合は、特別継続試合は適用されず、両チームの最終メンバー9名にて勝敗抽選を行う。（タイブレークの再試合は行わない）

注4) 試合中止の判断は、審判員、大会役員、球場責任者の協議判断によるものであり、当該チームが意見を申し出ることはできない。（日没の場合も含む）

大会役員

大会本部

大会顧問	江田島市長	明岳 周作
大会会長	広島瀬戸内リトルシニア 会長	佐藤 則昭
大会副会長	〃 副会長	佐藤 聖一
大会本部長	〃 事務局長	山之内 正弘
競技・規則部長	〃 副事務局長	原田 惣
審判部長	〃 審判部長	山本 泰靖
大会運営部長	〃 保護者部長	立石 啓介
大会運営部	〃 婦人部長	大竹山 真樹
〃	〃 会計部長	落海 知里
〃	〃 遠征部長	升本 明日香
〃	〃 管理部長	平川 愛加
〃	〃 アナウンス部長	淵野 まどか
〃	〃	保護者部一同